

---

## 第Ⅱ章

### みどりの

“量”

### の調査結果

Ⅱ－１	緑被調査	19
Ⅱ－２	樹木Ⅰ調査	42
Ⅱ－３	樹木Ⅱ調査	58
Ⅱ－４	屋上緑化調査	62
Ⅱ－５	樹林調査	68
Ⅱ－６	生け垣調査	76
Ⅱ－７	壁面緑化調査	80
Ⅱ－８	水面地調査	82
Ⅱ－９	公共施設の緑化調査	91



## Ⅱ-1 緑被調査

### 1. 緑被の現況

	(H16)		(H26)
○緑被率	17.1%	→	17.3%
○緑被の中で樹木被覆地の占める割合	87.3%	→	88.3%
○緑被率の増減	1.7ポイント増加	→	0.2ポイント増加

#### (1) 区全体の現況

今回調査は、「緑被率標準調査マニュアル」(1988(昭和63)年東京都環境保全局。資料編「2.2 緑被調査」を参照。)の水準Ⅰ(面積1㎡以上の緑被等を抽出)に準拠して、緑被等の把握を行った。目黒区全域の緑被等の現況および経年変化を表Ⅱ-1-1、緑被等の構成比を図Ⅱ-1-1、図Ⅱ-1-2に、また目黒区の緑被等分布図を図Ⅱ-1-3に示す。

本区の\*<sup>1</sup>緑被率は、17.3%である。このうち、\*<sup>2</sup>樹木被覆地率は15.3%、草地率は1.6%である。屋上緑地率は0.3%、農地率は0.1%である。

緑被の構成比では、樹木被覆地が全体の88.3%を占め、草地は9.2%、屋上緑地が1.5%、農地が1.0%となっている。緑被以外では裸地が小さい規模が多く、これらは未舗装の駐車場を多く含んでおり、裸地率は1.9%である。また、主な水面は目黒川や碑文谷公園等に大規模に見られ、水域投影\*<sup>3</sup>率は0.3%である。(※水域投影：上空から確認できる水面の面積)

また、前回調査(2004(平成16)年度)と比較すると、緑被率は17.1%から17.3%へ0.2ポイント増加した。増加率はおよそ1.3%、面積で約3.3haの緑被地が増加している。

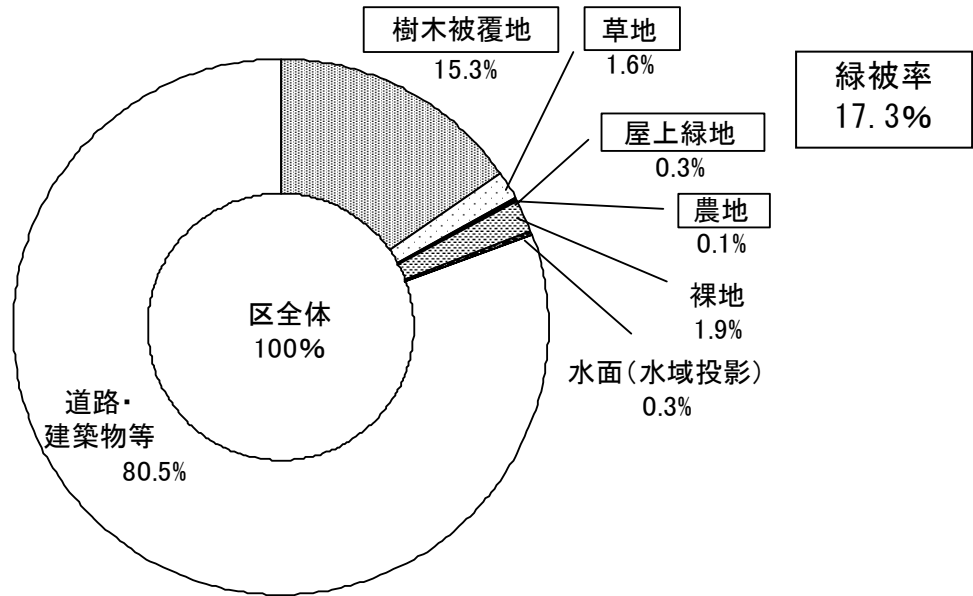
表Ⅱ-1-1 目黒区の緑被等の現況と経年変化

緑被等項目	平成16年度調査		平成26年度調査		増減		
	面積(㎡)	比率(%)	面積(㎡)	比率(%)	面積(㎡)	比率(%)	
緑被	樹木被覆地	2,192,465	14.9	2,246,460	15.3	53,995	0.4
	草地	275,465	1.9	234,590	1.6	-40,875	-0.3
	屋上緑地	8,894	0.1	37,235	0.3	28,341	0.2
	農地	33,823	0.2	25,174	0.1	-8,649	-0.1
	小計	2,510,647	17.1	2,543,459	17.3	32,812	0.2
裸地	585,550	4.0	273,716	1.9	-311,834	-2.1	
水面(水域投影)	70,626	0.5	40,063	0.3	-30,563	-0.2	
道路・建築物等	11,533,177	78.5	11,842,762	80.5	309,585	2.0	
区全体	14,700,000	100.0	14,700,000	100.0	—	—	

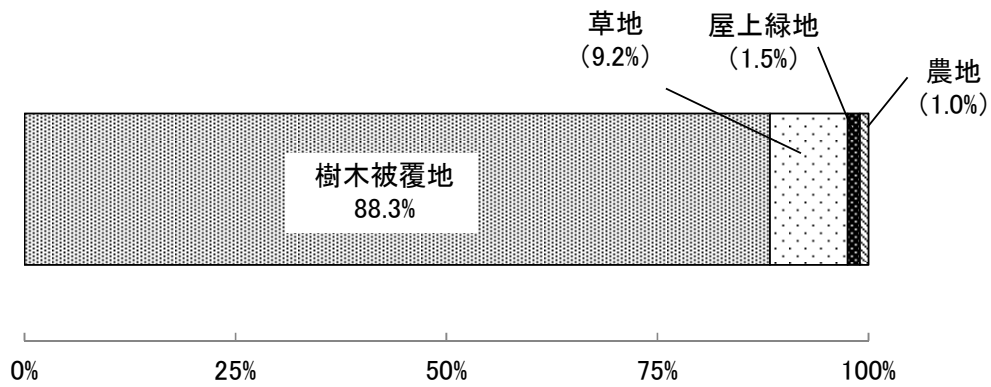
注) 水域投影面積：上空から確認できる水面の面積。

\*<sup>1</sup> 緑被率：資料編 P.163 用語集(7)参照

\*<sup>2</sup> 樹木被覆地：資料編 P.163 用語集(8)参照



図Ⅱ-1-1 区全域に占める緑被等の構成比



図Ⅱ-1-2 緑被の構成比